

経ヶ岬通信所だより

No. 4



日米交流音楽会



近畿中部防衛局広報誌

2019

👉 日米でさまざまな交流を行っています！



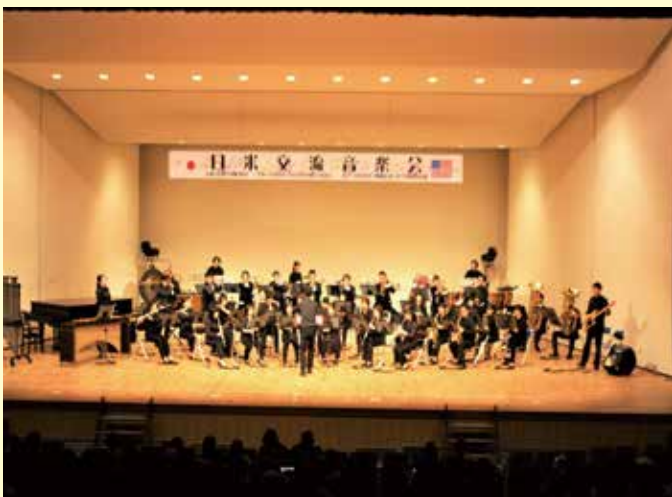
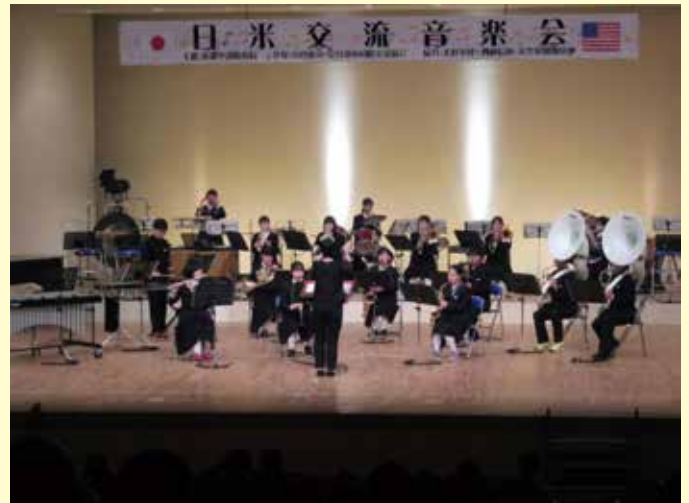
○島津小学校 & 米空軍太平洋音楽隊合同演奏会、日米交流音楽会の開催 日米交流音楽会

3月9日、丹後文化会館において、「日米交流音楽会」を開催し、当日は、立見が出るほど多くの方にご来場いただきました。

米空軍太平洋音楽隊に加え、地元の丹後吹奏楽団、プティエトワールモダンバレエ教室、京丹後市立峰山中学校吹奏楽部そして、米陸軍経ヶ岬通信所の隊員に参加していただきました。

開演前には、米空軍太平洋音楽隊の隊員から丹後吹奏楽団員や、峰山中学校吹奏楽部部員が楽器の演奏指導を受けるなどの交流がありました。

音楽会では、峰山中学校吹奏楽部が、幕が下がる最後まで会場に笑顔を、プティエトワールモダンバレエ教室は、丹後吹奏楽団のダンシングヒーローの演奏に合わせ、バブリーダンスを踊り会場が盛り上がりとともに、米空軍太平洋音楽隊の演奏後にはアンコールの声がかかり、グレン・ミラーオーケストラの代表曲イン・ザ・ムードが演奏され、世代を問わず会場が一体となり大盛況のうちに終了しました。



島津小学校 & 米空軍太平洋音楽隊合同演奏会

3月8日、島津小学校において、「島津小学校 & 米空軍太平洋音楽隊合同演奏会」を開催し、児童の皆さんと、米陸軍経ヶ岬通信所及び米空軍太平洋音楽隊の隊員が、音楽と給食で楽しく交流しました。

この合同演奏会は、島津小学校の「国際交流クラブ」に所属する児童が、近くに住む外国人と交流する機会を持ちたいとの強い思いから、自らの発案で交流会を企画し、そこに参加した米軍人との繋がりをきっかけとして、今回の演奏会開催に至ったものです。

当日は、米空軍太平洋音楽隊の演奏にあわせて、「手をたたきましょう」などを英語で合唱し盛り上がりました。

その後給食の時間では、各教室で児童と隊員が、一緒に机を並べ給食を食べました。

児童達は、普段の英語の授業やクラブでの成果を存分に発揮し、習った英語表現を使って、積極的に会話をおこなったり、身振り手振りなどを駆使して、交流を楽しみました。



島津小学校から多くの感想をいただきましたので紹介します

○音がくたいの人がかえるときに、ハイタッチしてくれました。がいこくの人にいっぱいしゃべりたいです。
○リーダーの人が、いろんな、えいごを、おしえてくれました。もしがい国人と、あったら、もっとえいごを、おしえてほしいです。たのしい日になってよかったです。 【1年生】

○わたしは、えんそうを聞いた時、サックスのあとの人たちがいいなと思いました。その中でもことひきはまによせてが「すごいなー」、と思いました。もしまたきかいがあったら聞きたいです。
○ぼくのすきなきょくは名たんていコナンです。りゅうはギターとサックスの音が交わってふつうのきょくよりも、すごくちがう音をかんだからです。 【2年生】



○いっしょに歌ったりおどったりしてとても楽しかったです。またぜひ来てください。
○ギターみたいな楽器がすごかったです。見たこともない楽器が見れて、うれしかったです。 【3年生】

○曲を聞いていると、時間が早く感じました。本当のバンドを初めてみたのでびっくりしました。
○音楽を聴いてとても感動しました。絵にかいて部屋にکاざっておきたいほど心に残りました。 【4年生】



○音楽が始まる前は、外国の人と話して、意外とたくさんはなせました。それに感じたことは、聞き返すと、もっともっとたくさん会話ができたことを感じました。だから、これからはスモールトークなどで、一方的に話すのではなく、聞き返すのもしていきたいです。
○サックスをふいていた4人はとてもかがやいて、とてもカッコ良かったです。サックスをふいて聞いている人の心をうごかしたいと思いました。あの時間は5年間のなかで一番楽しかった思い出になりました。 【5年生】

○演奏会は、とてもはく力があってすごかったです。きれいですてきな演奏を聞いて、楽しかったです。給食の交流では、とても楽しくすごすことができました。
○音楽はどの曲も息があってはいく力があってすごかったです。また聞きたいです。 【6年生】

通信所ニュース

○米陸軍経ヶ岬通信所中隊長（第 14 ミサイル防衛中隊長）交代式

米陸軍経ヶ岬通信所中隊長（第 14 ミサイル防衛中隊長）ボガート大尉（離任）とブガド少佐（着任）の交代式が 2 月 22 日、京都府京丹後市の航空自衛隊経ヶ岬分屯基地にて執り行われました。



交代式の様子

○新旧中隊長からの御挨拶

前中隊長 テイビット・ボガート大尉

京丹後市民の皆様、経ヶ岬通信所へのご支援に感謝申し上げます。

15 カ月にわたるこちらでの経験は私の 16 年間の陸軍のキャリアにおいて最もやりがいのあるものでした。このような名誉ある任務を与えられたことを誇りに思います。第 14 ミサイル防衛中隊を新しい段階へ導くことは気持ちが高まるものでした。将来の兵士の為の住居支援区域の造成が始まり建設状況を目の当たりにすること、警備任務を支援する憲兵チームの着任を見届けること、日本国内に 2 台ある AN/T P Y-2 レーダーのひとつを運用すること、数多くの地域のイベントにボランティアで参加すること、航空自衛隊と文化交流行事を続けていくこと、そして、この素晴らしく美しい地域の一員として受け入れられたこと。

私たちが育んできたこの関係は、兵士と地域の皆様にとって、長い時間をかけて維持され、深く意味のある影響を与えるのではないかと思います。皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

いつの日か京丹後市を再び訪れ、基地の発展とこの素晴らしい地域を見に訪問することを楽しみにしております。



新中隊長 ブラッド・ブガド少佐

私は第 14 ミサイル防衛中隊の新中隊長ブラッド・ブガド少佐です。

第 14 ミサイル防衛中隊経ヶ岬通信所からご挨拶申し上げます。

私はハワイ出身ですが、これまで世界中の国々に住んできました。

私の直近の任務はオクラホマ州フォート・シルの第 5 防空砲兵連隊第 5 大隊の副大隊長でした。1 月、アフガニスタンより帰任致しました。これからも地域社会、京丹後市の様々な機関との関係を発展させることを楽しみにしております。また、自衛隊との関係を引き続き構築し、受け入れ国である日本をどのような形でも支援したいと思います。皆様のおもてなしと、世界で最も美しい国のひとつに温かく迎え入れて頂いたことに感謝申し上げます。ここ日本で任務に就くことを光栄に感じております。



👉防衛省の補助金等がまちづくりを支援しています！

○島津ふれあいセンター完成



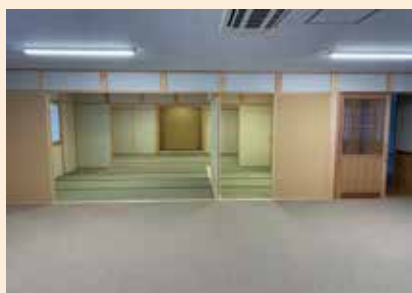
島津ふれあいセンターの完成記念式典が、平成31年1月27日、同センターにおいて華やかに行われ、三崎市長をはじめとする多くの関係者が出席し、完成を祝いました。

京丹後市では、米陸軍経ヶ岬通信所の設置に伴い、その周辺地域において影響を受ける市民の方々の生活の利便性の向上及び産業の振興に寄与することなどを目的とする再編交付金の事業を行っており、同センターは、再編交付金事業として平成29年度に設計から着手し、平成30年12月に完成しました。

同センターは、木造平屋建ての大集会室、和室及び会議室などを備える床面積454㎡の施設であり、今後、島津連合区（春日区、愛宕区、大橋区、大谷区、溝川区、島津口区、仲禅寺区、掛津区）の市民の方々のコミュニティ交流の拠点として活用されることが期待されています。



大集会室



和室



会議室

👉米陸軍経ヶ岬通信所からの紹介！ ○文化交流イベント活動



豆まき

米陸軍経ヶ岬通信所の陸軍兵士が 2 月 6 日、京丹後市丹後町袖志地区で開催された文化交流イベントで「豆まき」を経験しました。この文化交流イベントは袖志地区にて毎月開催されているものです。

参加者はアルファベットの書き取りや英会話の練習を行った後、豆まきを行いました。

「とてもエキサイティングでした。」と話すのは“鬼役”で参加したジョーンズ 3 等軍曹です。「アメリカにはこのような行事はないのでとても興味深かったです。豆まきは一家全員に福が来るように願いながら行うものだと思いました。私たちは“袖志ファミリー”の一員として、皆さんに福が来るように願いました。子供たちに投げられた豆は少し痛かったですけど。」と笑いながら話しました。

「私たちは英語を教えるだけではなく、このようにユニークな日本の文化と伝統を学んでいます。毎月のこの交流会をととても楽しみにしています。」【経ヶ岬通信所の活動状況などはフェイスブックにも掲載していますのでご覧ください。 <https://www.facebook.com/14MDB/>】



京丹後市国際交流協会主催「お茶会」

米陸軍経ヶ岬通信所の陸軍兵士は 2 月 2 日、京丹後市久美浜町の豪商稲葉本家にて京丹後市国際交流協会が主催したお茶会に参加しました。これは、京丹後市国際交流協会が京丹後市在住の外国人に日本の伝統文化を体験してもらうために企画したものです。

「今日この行事に参加した人は、日本の伝統を体験しました。」と話したのは第 14 ミサイル防衛中隊中隊長のボガート大尉。「この交流行事で楽しい時間を共有し、新たな友人を作ること、偏見のない心を持てるようになります。文化交流に参加し、茶道の伝統を学ぶことにより思考を広げることができました。」と話しました。

このような機会を提供して下さった京丹後市国際交流協会とこのイベントをサポートされた皆様に感謝申し上げます。



👉引き続き地域の交通安全に取り組んでいます！

○米軍人等に対する交通安全講習会を開催しました

本年 3 月 13 日と 14 日の二日間、京丹後警察署の協力を得て、当局の京丹後現地連絡所で米陸軍経ヶ岬通信所に勤務する米軍関係者を対象とした交通安全講習会を開催しました。

今回実施した講習では、京丹後警察署からの講義に加え、ドライブシミュレーターを使用し、車両走行時に遭遇しやすい危険な場面を疑似体験することで危険予知の能力を高めるトレーニング等を行いました。

交通安全講習会（3 月 13 日及び 14 日）の様子



○米軍関係者との交通事故で被害を受けられた方へ

米軍関係者との交通事故で受けられた被害については、基本的には日本人同士で交通事故を起こした場合と同様、米側当事者やレンタカー会社が加入する保険を通じて賠償を受けることになります。

当局は、被害者の方からご相談があれば、米側との間に立って調整をするなど、できる限りのお手伝いを行っていますので、お困りのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので以下の連絡先にご相談ください。



【連絡先】

近畿中部防衛局管理部業務課

電話 06-6945-4964 / 06-6945-5381（夜間及び休日）

■ ご意見・ご感想等 ■

本誌についての皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですのでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っています。

（住所）

〒540-0008

大阪市中央区大手前 4 丁目 1-67

近畿中部防衛局

広報編集委員会（報道官気付）

（電話・FAX）

TEL 06-6945-4953

FAX 06-6910-5669

（メールアドレス）

goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2019 年 経ヶ岬通信所だより（通算第 58 号）

平成 31 年 3 月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953
URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性[Ⓐ]

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。